

「弱さ」と生きる

子ども・大人・保育

参加無料

どなたでも
ご参加できます

2019年11月2日(土) 13:00-15:30 (16:00-17:00 懇親会)

開催場所 武蔵野大学 武蔵野キャンパス (使用教室はHP、正門に掲示いたします)

講演・シンポジスト



にしひら ただし

西平 直 京都大学教育学研究科・教授

専門は、教育人間学、死生学、哲学。人の一生(ライフサイクル)について考えています。立教大学、東京大学に勤務の後、2007年から現職。2009年から毎年ブータンに通っています。著書に『魂のライフサイクル』(東京大学出版会)、『世阿弥の稽古哲学』(東京大学出版会)、『無心のダイナミズム』(岩波現代全書)、『誕生のインファンティア』(みすず書房)、『ライフサイクルの哲学』(東京大学出版会)、『稽古の思想』(春秋社)など。

シンポジスト



えのきた ふみこ

榎田 二三子 武蔵野大学教育学部子ども発達学科 教授

お茶の水女子大学家政学部児童学科卒業。明星大学通信制大学院人文研究科教育学専攻修了(修士(教育学))。東京都公立小学校教員、専業主婦、専門学校非常勤を経て現職。OMEF世界幼児教育・保育機構日本委員会常任理事、埼玉県子育てアドバイザー、婦人之友社乳幼児グループ育児相談担当、江東区子ども・子育て会議会長、武蔵野市子ども協会理事。専門は保育学、特に3歳未満児の理解と援助の方法。最近幼い人を人として尊重するとはどのようなことだろうか、それをわかりやすく伝えるにはどうしたらよいらうかと考えている。主な著書は『育児日記からの子ども学』[共著](勁草書房、1996)、『親たちは語る』[共著](ミネルヴァ書房、1996)、『保育者論』[編著](建帛社、2016)。



なまい りょうじ

生井 亮司 武蔵野大学子ども発達学科・教授

東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了 博士(美術)。東京藝術大学美術教育研究室助手、鎌倉女子大学非常勤講師等を経て現職。専門は美術(造形)教育哲学、彫刻制作。近年は現代哲学を援用しながら美術教育の人間形成的意義についての研究を行っている。また社会実装としての哲学対話(哲学カフェ)なども開催している。主に国展、個展を中心に作品制作発表を行う。主著は『美術と教育のあいだ』(東京藝術大学出版会、2011年)。

【問合せ先】

武蔵野大学教育学部子ども発達学科科長 義永 睦子

e-mail: mutsu-y@musashino-u.ac.jp 〒202-8585 東京都西東京市新町1丁目1番20号

主催：武蔵野大学教育学部子ども発達学科

JR(中央線・総武線)・地下鉄東西線・京王井の頭線		
武蔵境駅 北口バス③ 三鷹駅行、武蔵野営業所行バス約7分 「武蔵野大学」下車	三鷹駅 北口バス③ 武蔵野大学行、武蔵境駅行、武蔵小金井駅行、ヴィーガーデン西東京行バス約10分「武蔵野大学」下車	吉祥寺駅 北口バス① 向台町5丁目行、桜堤団地行バス約15分 「武蔵野大学」下車
西武新宿線		西武池袋線
田無駅 北口バス⑤ 武蔵境駅行バス約5分 「至誠学舎東京前」下車、徒歩5分		ひばりヶ丘駅 南口バス① 武蔵境駅行バス約20分 「至誠学舎東京前」下車、徒歩5分

※上記のうち、直行バスも運行されている三鷹駅での下車が便利です。
※お車でのご来場はお断りしております。

